

「岡山民報」(2004/11/7 付)が岡本市議の記念講演を紹介しましたので、転載します。

科学の目でとらえる 第 68 期岡山労働学校 哲学教室、が開校

「混沌としている世の中を、『科学の目』でとらえよう」と、第六八期岡山労働学校『哲学教室』が十月に開校、青年を中心に約三十人が参加しています。

岡山市勤労者福祉センターでの入学式(十月七日)には、恒例の自己紹介ビンゴゲームなどの交流後、日本共産党の崎本敏子岡山市議の『私たちの生き方と哲学』と題した記念講演がありました。

崎本さんは、看護学生時代に科学的なものの見方に会い、看護の実践と人に対する見方に生かしてきた経験を語りました。事実をしっかりと見ることの大切さを強調し、「社会に、しっかり目を向けることが大事」とし、平和や憲法について話しました。



『戦争のつくりかた』の本の紹介や、自衛隊のイラク派兵、そしてベトナム帰還兵のネルソンさんのお話も紹介しました。

「いのち」の問題をめぐり、お金がなければ医療にかかれない現実、高齢者施設の負担増額、生活保護の実態などを紹介され、参加者のなかに怒りが広がりました。

講演の最後に、「知らないでいようとすれば、知らないですむ。でも、どこかで様々な問題が起きている。それらの事実から目をそらさない」と述べ、「流されない生き方、あきらめない生き方、そして行動する生き方を」と、参加者にメッセージを送られました。

以下は感想文です。

「ネルソンさんあなたは人を殺しましたか？」という本を紹介されたのでぜひ読んでみたいと思います。今日もまたひとつ成長しました！（22歳、女性）

何も知らずに流されていく生き方よりも、世の中の法則をつかんで活かしていく生き方を

話す崎本さんは、輝いて見えました。(21歳、女性)

初めて講演を聞きました。今まで何回か機会もありましたが、なかなか行けませんでした。勇気づけられました。すごく今やる気がいっぱいです。来て良かったです。(20歳、女性)

とても感動しました。改めて自分の生き方を見つめてみるきっかけになりました。若い人たちに負けないよう生涯学習していきたいと思いました。(51歳、女性)

まっすぐな生き方に共感しました。私も、今、世の中がとってもおかしいと思います。おかしいことはおかしいと言って、ちゃんと生きていきたい。(36歳、女性)

「誰もが何かをするために生まれてきた」それが見つかったら、自分の人生が、どんなに楽しいだろうかと思ってワクワクしました。(26歳、男性)

看護師の現場を離れて、患者さんのために別の立場で頑張ることを決意した話にとっても感動した。何かしたくなってきました。(19歳、女性)

私も、流されずあきらめない、そしてわかったら行動するという生き方をしていきたい。(22歳、女性)

戦争に向けて歩いている政府に、本当に恐怖を感じています。もっと多くの国民が「9条はええなあ」と思ってくれたら。(27歳、女性)

自分の人生をより豊かにしていくためにも哲学を学ぶことは大事。ハッピーな人生を送れるような社会を目指して、自分にできることを続けていきたい。(29歳、女性)



『哲学教室』は、毎週木曜日の講義と、学習旅行などの企画をふくめ、全十五回のカリキュラムで、十二月十八日まで行なわれます。

岡山県労働者学習協会 事務局長・長久啓太

関連情報 岡山民報社 岡山市門田屋敷 5-1-30 TEL 086-270-1271

岡山県労働者学習協会 岡山市春日町 4-26 地方自治会館内 TEL 086-232-3738